



2023年1月10日

各位

上場会社名 株式会社ダブルエー
代表者名 代表取締役 肖俊偉
(コード番号：7683 東証グロース)
問合せ先 取締役 丁 蘊
(TEL. 03-5423-3601)

2023年1月期 第3四半期 決算に関する質疑応答集2

当社の2023年1月期第3四半期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。

決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

Q1：3Q決算において、ファーストリテイリングやABCマートと比べ原価率は低いものの、販管比率が高いように見受けられます。この要因と今後改善される余地があるか教えてください。

A：ファーストリテイリング様は業種が違うため比較をいたしかねます。ABCマート様は取扱商材が主にナショナルブランド商品であるのに対し、当社はすべて自社商品であるため原価率を低く抑えることが可能です。一方、販管費においては、売上高に応じて変動する手数料等が発生します。今後については、利益率におきましても他社様に負けない数値を目指して参ります。

Q2：為替が2022年10月に151円を付け、以降、円高傾向になっていますが、業績への影響と見通しについて教えてください。

A：為替が円高に振れた場合は、海外仕入コストの減少、及び、円換算に伴う海外事業収益の減少の両面の影響を受けます。現在は、国内販売が8割と多くを占めているため、円高は業績に対しプラスの影響が多いと試算しておりますが、市場の変化に合わせて都度、柔軟に対応して参ります。

Q3：直近の月次売上状況について増減要因を教えてください。

A：3Q時点の売上高は前年比112%と良好に推移しております。12月の売上高は、新型コロナウイルス感染再拡大を見据えてセールを前倒した前期に対し、当期は例年通り月末から実施したことが影響しました。今後につきましても、引き続きコロナの影響はあるものの、市場の動向を把握分析しながら販売増に努めて参ります。

<ご参考>

- ・2023年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 2022年12月15日公表
- ・2023年1月期 第3四半期決算補足説明資料 2022年12月15日公表

以上

免責事項

- ・本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料は、2022年12月15日公表の2023年1月期第3四半期決算の内容に関して頂戴したお問合せ、感想などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。